

---

# 無色のパノラマ

エルル

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

無色のパノラマ

### 【ISBN】

N4848A

### 【作者名】

エルル

### 【あらすじ】

中学生の海が今いるのは美術館。海はパノラマ絵画を見ていた。  
超短編小説。人は失つたものがあれば、得るものが必要ある生き物  
なのです。

横広い画面のパノラマ。

広い視野をもつそれには、引き込む力がある。  
パノラマの画面の世界へと。

美しい彩色。

広い空間。

そんな理由もあるのであろうが、何より。

視界の端から端までという、普段見る景色と変わらない情景にこそ、  
引き込む力があるのだと考えられる。  
もちろん、3つの条件が揃つて更に、だと言えよう。

学校の見学で長瀬海は美術館に来ていた。

海は現在中学1年生。

特に目立つところのない普通の中学生である。  
海は、絵画の隣にある説明文を読んでいた。  
飾られている絵画はパノラマのもの。

額の中では、村人達が楽しそうにダンスを踊っている。

「よく分かんないなあ……

海は小さく呟き、文と絵とを交互に見る。

別に何も引き込まれはしない。

心の内でそつとやう思うと、少し離れて絵を見る。

確かに、他の絵 パノラマ以外の絵 と比べれば、魅力がある。

何か分からぬけれど、目にしつくりとした印象が残る。  
おそらくこれがパノラマの世界に引き込む力。

3つの条件が揃つて更に、だと言えよ。

「2つでも結構いけるんじゃない？」

くす、と笑った。

海は美術館が好きではない。

つまらない、とかそういう理由ではなくて。  
海の目には生まれつきの障害があるので。

色を認知できないのである。

どんなに濃い赤、青だらうと、全く色が分からぬ。  
海の目に見えるのは無職の世界なのである。  
モノクロの世界が彼女の前には広がっているのだ。  
色がなければ絵を見る楽しさも半減する。  
そういう理由で、海は美術館が好きではなかつた。

パノラマの世界に引き込む力。

海にはその内の一つ、

美しい彩色が見えなかつた。

でも。

こんな私でも分かつた。

美しい彩色なんて、なくてもしつかり感じ取つた。

パノラマの魅力。

きっと私は感性の豊かな女。

色を失つた代償に、感性を貰つたの。

海には、無色のパノラマで充分だつた。  
私には、無色のパノラマで充分なの。

もし彼女の目に色が戻つたら、

「私、本当にパノラマの世界に入っちゃうかも」



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4848a/>

---

無色のパノラマ

2010年10月13日04時50分発行